

台湾研究

Taiwan studies

南の隣人：「不思議な」台湾を知ろう！

設置の趣旨・概要

本テーマカレッジは、日本にとって最も身近な隣人－台湾への多面的な理解を深めることを目的とする。冷戦後、グローバル化が急速に深化し、様々な問題も生じる中、新たな発想に基づく地域協力の枠組構築が求められている。このような中で、安定した日台および日中関係の構築、また、東アジア地域における平和的共存を展望しつつ、台湾を様々な側面から取り上げ、台湾を通じた東アジアの将来の可能性について考えたい。

こうした趣旨に基づき、講義科目に加えて、多彩な演習科目を提供し、歴史、政治、経済、日台交流史など多岐にわたる側面から、台湾、および日台関係の過去と現在を考察し、グローバルな視点に立った台湾研究の在り方を受講生とともに模索したい。

履修モデル

「東アジア地域から見た台湾」を幅広く学ぶため、本全学共通副専攻では、学内で開講している東アジア関連の科目を有機的に連動させ、受講生が自身のレベルにあわせて、台湾理解を深めることを目指している。そのために通常の講義科目に加え、語学の学習プログラムやプロジェクト研究所である台湾研究所の協力の下、講演会、シンポジウム、現地調査などへの参加も一部可能にし、受講生の理解を促進していきたい。

＜コア科目＞

「帝国思想と台湾」2単位＋「台湾を知る（入門・発展）」（各2単位）＋「台湾をめぐる戦後東アジア国際関係」2単位など

＜選択科目＞

「台湾政治研究」2単位＋「台湾現代文化研究」2単位＋「帝国日本と植民地法制」2単位＋「Introduction to Taiwanese History」2単位＋「食料・農業から見る台湾経済」2単位＋「近現代東アジアと早稲田」2単位＋「中国総合講座（入門・発展）」（各2単位）など

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	台湾に関する幅広い知識を身に付け、一定の語学力を習得。	習得した知識に基づき、台湾に対し自らの見解を持ち、より専門的な教育への学習を奨励する。また卒業後、政府機関・企業等で台湾/中国と関わる分野で活躍してもらいたい。

学生へのメッセージ

日本と国交がないにも関わらず、年間250万人以上が往来する不思議な隣人「台湾」。ある調査によれば、台湾人の一番移住したい国は日本である。また、日本社会でも観光先としての台湾の人気は高い。これらのことからわかるように、日台双方は民間レベルで非常に密接な関係を築いている。本全学共通副専攻では、国交がなく、これまで教育現場であまり取り上げられることのなかった台湾を、体系的に学べるようにカリキュラムを組んでみた。政治によって色分けされている知識をひとまずおいて、異なる角度から自分の言葉で台湾像を整理すれば、その中から新たな理解が生まれてくるだろう。

指定科目一覧

※備考欄の記載事項

追 加・・・2017年度より、指定科目として追加になった科目です。

取下げ・・・指定科目となっていたが、2017年度から取下げとなった科目です。2016年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

修了必要単位

18単位（コア科目：4単位、選択科目：14単位）以上

★コア科目

修了必要単位：4単位

項	設置学部・センター	科 目 名 称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	志望学科	備 考
1	GEC	台湾を知る（入門）	江 正 殷	1年以上	春クォーター	土3～4	早稲田	2	○	
2	GEC	台湾を知る（発展）	江 正 殷	1年以上	秋クォーター	土3～4	早稲田	2	○	
3	GEC	台湾をめぐる戦後東アジア国際関係史	家永 真幸	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2		
4	GEC	帝国思想と台湾 α	野口 真広	1年以上	春クォーター	火3時限	早稲田	1		2016年度以前科目名称： 「帝国思想と台湾」
5	GEC	帝国思想と台湾 β	野口 真広	1年以上	夏クォーター	火3時限	早稲田	1		

注1 コア科目を修了必要単位数以上取得した場合は、選択科目に振替えられます。

★選択科目

修了必要単位：14単位

項	設置学部・センター	科 目 名 称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	志望学科	備 考
1	GEC	中国総合講座（入門）	江 正 殷	1年以上	夏クォーター	土3～4	早稲田	2	○	
2	GEC	中国総合講座（発展）	江 正 殷	1年以上	冬クォーター	土3～4	早稲田	2	○	
3	GEC	Introduction to Taiwanese History		1年以上			早稲田	2		2017年度休講
4	GEC	近現代東アジアと早稲田	紀 旭峰	1年以上	秋クォーター	金3～4	早稲田	2		
5	GEC	台湾近現代史の中の人物と雑誌	紀 旭峰	1年以上	春クォーター	金3～4	早稲田	2		
6	GEC	台湾政治研究		1年以上			早稲田	2		2017年度休講
7	GEC	中国の歴史と社会		1年以上			早稲田	2		2017年度休講
8	GEC	帝国日本と植民地法制	浅 古 弘	1年以上	秋クォーター	火2時限 木2時限	早稲田	2	○	
9	GEC	食料・農業から見る台湾経済	張 采瑜	1年以上	春学期	月3時限	早稲田	2		
10	GEC	台湾現代文化研究 1	松岡 格	1年以上	春クォーター	月4時限	早稲田	1		
11	GEC	台湾現代文化研究 2	松岡 格	1年以上	夏クォーター	月4時限	早稲田	1		
12	政経	日本政治思想史 01	遠藤 正敬	3年以上	春学期	水3時限 木3時限	早稲田	4		
13	政経	地域文化研究（東アジア） 01	齊藤 泰治 他	2年以上	春学期	水2時限	早稲田	2		
14	政経	地域研究（台湾地域研究論） 01	松岡 格	3年以上	春学期	月5時限	早稲田	2		
15	政経	国際政治経済研究 秋学期（若林正文）	小笠原 欣幸	3年以上	秋学期	金2時限	早稲田	2		
16	法学	日本法史 II（近代）	小沢 奈々	2年以上	秋学期	火1時限	早稲田	2		
17	社会学	歴史学（日中関係史） 1	劉 傑	1年以上	春学期	水4時限	早稲田	2		
18	社会学	歴史学（日中関係史） 2		1年以上			早稲田	2		2017年度休講